

平成18年度ホンモロコ標識放流調査結果

三枝 仁・太田滋規・吉岡 剛

◆背景・目的.....

ホンモロコの種苗放流方法の検討として、各種種苗サイズごとに標識を施して放流し、冬季の沖曳網漁獲物から標本を採集して標識の有無を調査した。

◆成果の内容・特徴

- ・簡易に、かつ大量に生産できる放流種苗のサイズを検討するため、培養ワムシを給餌して10日間飼育した種苗を標識放流した。
- ・10日間程度飼育した種苗を取上げることなく放流できる生産方法を検討するため、間欠的に排水できる装置を設置した40トン水槽にふ化仔魚を収容し、日中にワムシを給餌しつつ夜間に注排水して種苗が流下(放流)できる池を設定して種苗を生産放流した。
- ・各種放流種苗の効果比較用として、別の標識を施し成魚にまで育成した種苗を琵琶湖北湖の沖合いに放流した。
- ・冬季に琵琶湖北湖で操業される沖曳網漁獲物から標本をサンプリングして標識の有無を確認した。
- ・標識確認の結果、10日齢で放流したものの再捕率は0.0004%、間欠排水装置を設置して放流した種苗は0.0076%であった。
- ・なお、間欠排水装置を設置して放流した種苗は、飼育終了時(30日目)に多数が池に残存しており、放流時のサイズは不明確であった。

◆成果の活用・留意点

- ・ホンモロコ資源の回復に貢献でき、かつ大量生産が容易な種苗放流方法の検討が必要である。

表 沖曳網漁獲ホンモロコの標識調査結果

年齢	種苗種別	採捕尾数	混獲率(%)	放流尾数	再捕率(%)
0	無標識	1,133	63.47		
0	栽培センター20mm種苗	79	4.43	1,224,000	0.0065
0	水試地先粗放育成種苗(0~30日齢)	27	1.51	355,000	0.0076
0	水試地先10mm種苗(10日齢)	3	0.17	853,000	0.0004
0	水試地先20mm種苗(協会筏生産魚)	34	1.90	121,000	0.0281
0	冬季放流魚	57	3.19	24,000	0.2375
1	無標識	60	3.36		
1	栽培センター20mm種苗	3	0.17	2,145,000	0.0001
1	水試地先ふ化仔魚	0	0.00	3,656,000	0.0000
1	水試地先20mm種苗	8	0.45	308,000	0.0026
2	無標識	2	0.11		
総計		1,406			